

JIS

繊維製床敷物試験方法一 第 18 部：汚れ試験方法

JIS L 1021-18 : 2020

(JCMA/JSA)

令和 2 年 3 月 23 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	楨 徹雄	東京都市大学
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山田 陽滋	名古屋大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.3.20 改正：令和 2.3.23

官 報 掲 載 日：令和 2.3.23

原 案 作 成 者：日本カーペット工業組合

(〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか TEL 06-6809-2868)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 実用汚れ試験方法	2
4.1 原理	2
4.2 敷込み方法	2
4.3 試験片の採取及び準備	2
4.4 施工の方法	2
4.5 手順	4
4.6 試験結果	5
4.7 試験報告書	5
5 カッパーソイリング試験機による汚れ試験方法	5
5.1 原理	5
5.2 装置	5
5.3 調製及び試験条件	8
5.4 試験片の採取及び準備	8
5.5 手順	8
5.6 試験結果	9
5.7 正確性及び精度	9
5.8 試験報告書	9
6 ロータリ形タッピングソイル試験機による汚れ試験方法	9
6.1 原理	9
6.2 装置	9
6.3 標準汚れ物質	12
6.4 試験片の採取及び準備	12
6.5 手順	12
6.6 試験結果	12
6.7 試験報告書	13
附属書 A (参考) カッパーソイリング試験機によって汚染した試験片を用いて行うクリーニング洗剤及び ／又はクリーニング機の性能評価方法	14
附属書 B (参考) 標準人工汚れ物質	15
附属書 C (参考) 試験精度	16
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	21
解 説	23

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本カーペット工業組合（JCMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS L 1021-18:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS L 1021 の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS L 1021-1** 第 1 部：物理試験のための試験片の採取方法
- JIS L 1021-2** 第 2 部：く（矩）形の繊維製床敷物の寸法測定方法
- JIS L 1021-3** 第 3 部：厚さの測定方法
- JIS L 1021-4** 第 4 部：質量の測定方法
- JIS L 1021-5** 第 5 部：単位長さ及び単位面積当たりのパイル数測定方法
- JIS L 1021-6** 第 6 部：静的荷重による厚さ減少試験方法
- JIS L 1021-7** 第 7 部：動的荷重による厚さ減少試験方法
- JIS L 1021-8** 第 8 部：パイル糸の引抜き強さ試験方法
- JIS L 1021-9** 第 9 部：剥離強さ試験方法
- JIS L 1021-10** 第 10 部：水及び熱の影響による寸法変化の試験方法
- JIS L 1021-11** 第 11 部：摩耗強さ試験方法
- JIS L 1021-12** 第 12 部：ベッターマンドラム試験機及びヘキサポッドタンブラー試験機による外観変化の作製方法
- JIS L 1021-13** 第 13 部：外観変化の評価方法
- JIS L 1021-14** 第 14 部：改良形ベッターマンドラム試験機によるカットエッジの機械的損傷試験方法
- JIS L 1021-15** 第 15 部：ファイバーバインド試験方法
- JIS L 1021-16** 第 16 部：帯電性一歩行試験方法
- JIS L 1021-17** 第 17 部：電気抵抗測定方法
- JIS L 1021-18** 第 18 部：汚れ試験方法
- JIS L 1021-19** 第 19 部：クリーニング試験方法

繊維製床敷物試験方法—第 18 部：汚れ試験方法

Textile floor coverings—Part 18: Assessing methods for soilability

序文

この規格は、1997年に第1版として発行されたISO 11377及び2000年に第1版として発行されたISO 11378-1を基に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本産業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目を日本産業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、繊維製床敷物の実用汚れ試験方法、カップソーリング試験機による汚れ試験方法及びロータリ形タッピングソイル試験機による汚れ試験方法について規定する。この規格は、全ての繊維製床敷物に適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 11377:1997, Textile floor coverings—Floor soiling—Test site set-up and soiling evaluation

ISO 11378-1:2000, Textile floor coverings—Laboratory soiling tests—Part 1: Kappasoil test (全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 1462 フェライト用酸化鉄(III)（フェライト用酸化第二鉄）

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

注記 対応国際規格：ISO 139, Textiles—Standard atmospheres for conditioning and testing

JIS L 0212-1 繊維製品用語（衣料を除く繊維製品）—第1部：繊維製床敷物

JIS L 0804 変退色用グレースケール

注記 対応国際規格：ISO 105-A02, Textiles—Tests for colour fastness—Part A02: Grey scale for assessing change in colour

JIS L 1021-1 繊維製床敷物試験方法—第1部：物理試験のための試験片の採取方法

注記 対応国際規格：ISO 1957, Machine-made textile floor coverings—Selection and cutting of